

平成30年10月22日(月) 13032号



株式会社 日刊金属

本社 〒530-0043
 大阪市北区天満2丁目12番3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号
 TEL (06) 6353-7831 (代表)
 FAX (06) 6353-7832

東京支社 〒140-0001
 東京都品川区北品川1丁目9番7号
 トップルーム品川1015
 TEL (03) 6869-9983 (代表)
 EMail info@nikkankinzoku.co.jp
 WebPage https://nikkankinzoku.co.jp/

購読料 12ヵ月 72,000円(税別) データ12ヵ月 84,000円(税別)
 6ヵ月 36,000円(税別) 配信料 6ヵ月 42,000円(税別)

8月非鉄金属輸入状況

銅は前月比21%増

ペルーからの輸入回復

経済産業省資源エネルギー庁がまとめた2018年8月の非鉄金属輸入状況によると、銅鉱石の輸入量は11万3,474トンだった。前月に比べ21.3%増加、前年同月比では10.4%減少した。

銅鉱石は、最大の輸入先であるチリからの輸入量が5万3,081トン。前月比4.1%増、前年同月比では0.5%の減少となったものの、堅調な輸入状況が続いた。7月は大幅な減少だったペルーは、前月比6.4倍、前年同月比78.3%増の2万4,200トンと回復した。7月に輸入が急増した豪州は、前月比41.8%減少した。銅鉱石の輸入量全体に占めるチリの割合は46.8%で、7月から7.7ポイント低下。ペルーの比率は21.3%に上昇した。

亜鉛鉱石の輸入量は2万9,044トンで、前月比は25.3%、前年同月比24.2%それぞれ減少。輸入先1位はポリビアの1万2,265トンで、前月比47.9%増加、前年同月比では6.4倍の大幅な伸びとなった。一方、豪州とペルーからの輸入が大幅に減少した。亜鉛鉱石の輸入量全体に占めるポリビアの割合は42.2%。

鉛鉱石輸入量は1万0,523トンで、前月比2.5倍、前年同月比63.4%の増加となった。国・地域別で最多は米国で、前月比10倍の伸びを記録した。豪州も前月比39.2%増加。米国と豪州は前年同期の輸入がなかった。米国からの輸入量が鉛鉱石全体に占める割合は56.7%、豪州は24.9%となった。

18年8月主要非鉄金属輸入状況(単位:トン)

銅	輸入量	比率 [%]
チリ	53,081	46.8
ペルー	24,200	21.3
カナダ	10,307	9.1
豪州	7,442	6.6
インドネシア	7,435	6.6
パプア・ニュー・ギニア	6,087	5.4
メキシコ	2,348	2.1
ブラジル	25	0.0
その他	2,549	2.2
合計	113,474	100.1

鉛	輸入量	比率 [%]
米国	5,963	56.7
豪州	2,618	24.9
ポリビア	1,050	10.0
ペルー	548	5.2
ブラジル	178	1.7
メキシコ	28	0.3
その他	138	1.3
合計	10,523	100.1

亜鉛	輸入量	比率 [%]
ポリビア	12,265	42.2
米国	7,814	26.9
メキシコ	4,752	16.4
豪州	2,417	8.3
ペルー	1,663	5.7
ブラジル	111	0.4
その他	22	0.1
合計	29,044	100.0

亜鉛くず 現金高価買受け
 亜鉛ドロス・滓 ご照会乞う

再生亜鉛精錬

日進産業株式会社

代表取締役 星山えり

〒580-0006 松原市大堀1丁目7-30
 TEL 0723-31-3945代表
 FAX 0723-31-3974

9月銅市況動向

米中貿易摩擦やドルレートに左右

下旬には上昇も月末にかけて下落

独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構 (JOGMEC) がまとめた9月の銅市況動向では、ロンドン金属取引所 (LME) の銅相場は米国による対中制裁関税の動きとドルレートの動きに左右される結果となった。

上旬は、5,951.0ドルで開始。8月30日にトランプ米大統領が中国に対する対中関税のパブリックコメントの終了を受けて、第3弾の対中関税発動を検討しているとの伝わったことが重しとなり、銅相場は4日には5,823.0ドルに低下した。その後、ドル安とLME在庫の減少から価格が上昇したものの、10日には5,840.5ドルの水準まで下落した。

中旬は、米政権が中国に対して貿易摩擦緩和のための閣僚級協議の再開を提案したとの報道を受け、貿易摩擦への懸念後退感から、13日に5,991.0ドルに上昇。ただ、米政権が17日に2,000億ドル規模の中国製品に対する第3弾の追加関税発動を発表すると伝わったことを受け、同日に5,860.0ドルへ下落した。

米政権は、第3弾の対中追加関税措置を24日に発動すると発表したものの、措置の内容が10%と当初想定されていた25%ほど厳しくなかったこと、為替では一時ドル安が進み、LME銅在庫が減少傾向にあることから、24日には6,320.0ドルにまで上昇した。その後、26日に開かれた米公開市場委員会 (FOMC) の利上げ決定によるドル上昇の影響で、銅相場は下落傾向となり、6,180.0

ドルで月をまたいだ。

需給動向では、ロシアのバイカルマイニングが埋蔵量2,670万トンのUdokan鉱山製錬所の開発に9月4日に着手。また、中国の紫金鉱業が、9月17日にセルビアと戦略的協力協定を締結し、セルビア国有銅鉱山・製錬企業RTB Bor社の持ち分67%を確保する予定という。

社会の発展とその未来に
テクノロジーで対応する

KYOWA

地球にも、人にもやさしい KYOWA のエコ電線

タイシガイセンEM 600V EEF/F

<http://www.kyowadensen.co.jp/>



協和電線工業株式会社

KYOWA ELECTRIC WIRE INDUSTRY CO.,LTD.

〒581-0026 八尾市曙町1丁目7番

TEL (0729) 91-0818 (代) FAX (0729) 91-4470

従業員の健康促進へ

社内運動会を実施

TANAKA HD

TANAKAホールディングス (田苗明社長) は、従業員を対象とした社内運動会「健康促進大会 2018」をこのほど開催した。

健康促進大会は、社内での募集に応募した実行委員が12の競技プログラムを企画・構成した。大玉送り、玉入れ、大縄跳び、綱引き、リレーといった定番競技に加え、今年は、地金バーを模し、バトンを落とさないように積み上げながら走る純金積立リレー (障害物リレー) のほか、騎馬戦と流鏑馬を組み合わせた流鏑馬リレーなどのオリジナルプログラムも実施。



ブラインドサッカー体験プログラム

当日は本社部門等から従業員343人が参加し、赤・青・黄の3チーム対抗形式で行われた。

今年の大会では、日本ブラインドサッカー協会の協力・指導の下で「ブラインドサッカー」の体験プログラムも実施。参加者全員がアイマスクをした状態で、日本ブラインドサッカー協会のスタッフの説明を受けながら、声やボールなどの音を頼りに、チーム分けやボールのリレーに挑戦した。

健康促進大会は、従業員の健康促進、コミュニケーション活動の促進、企画運営及び実施を通じて従業員の連帯感向上を目的としている。

アルミニウム屑・銅・真鍮・ステンレス
各種非鉄金属屑

株式会社原田商店

代表取締役 原田 靖章

〒547-0002 大阪市平野区加美東6-14-30
TEL 06-6793-8128 FAX 06-6793-8128

第79回 10月のCOMC (銅公開市場委員会) 声明

グループC R B (銅原料対策準備制度 議長 橋本健一郎) はCOMC (銅公開市場委員会) を開催した。声明は以下の通り。

第79回 COMC 声明

- ①電気銅 建値予測 730-770円
- ②銅相場のトレンド ベア
- ③LME銅セツル予測 6,100-6,400ドル
- ④為替トレンド予測 横ばい
- ⑤ドル円予測(TTM) 113-115円

【原料景況感】

上物スクラップに関しては発生難から問屋間を取り合いの状況。その背景には「80万を超えないと塩漬け玉が出てこない」といった説があるものの、長期間80万を超えていて、突然下がったのならそうかもしれないが、年初(1月~2月頭)を除けば80万を超えていたのは84万が8営業日、その後で81万が9営業日、と思っていたより意外に短い。この間に塩漬けにされた玉は言われているほど多くないのでは、との意見があった。ただ、ロング契約分との事でメーカー自体はさして欲しがっていない模様。山行に関してもこの山も在庫は過剰気味との事。

【概況】

前半は、トランプ米大統領が7日にも2,000億ドル相当の中国製輸入製品に対して25%の上乗せ関税を課し、中国政府は関税が発動されれば報復措置を講じると警告するなどのマイナス材料もあったが、トランプ政権が通商問題で中国政府と交渉の場を持つことに意欲を示していることや、中国8月の製造業PMIが予想は51.0へ低下だったのに対し51.3に上昇、と発表したことを好感しUP。

9月15日時点で5,946.5ドル(セツル)と月初価格より95ドル安の前半締めとなった。

後半は、トランプ政権は24日から中国の輸入品2,000億ドルに10%の追加関税を課し、中国も報復関税を発動した。

中国政府高官が米との貿易交渉を一旦取りやめたと報じられ、米中双方の歩み寄りが難しいとの見方が市場心理を冷やしたなどの悪材料もあったが、米国とカナダが北米自由貿易協定 (NAFTA) 再交渉で妥結し、米国を中心とした貿易摩擦を巡る不透明感がやや晴れたなどを好感しUP。

10月2日現在、後半スタート価格から312ドルUPの6,172ドル。

建値75万円のスタート。

今後の動向であるが、今回のCOMCにおいては

A. LME在庫の動向

B. 米中間選挙および米中貿易戦争の動向

以上の意見が非常によく聞かれた。

A. に関しては、米中貿易の関税問題を受けて中国の潜在的需からLME銅在庫の減少が最近見受けられる。ただ、貿易戦争自体が景気後退材料になる場合もある。ただ、現在は単純にLME在庫減少→価格の上昇の流れにあるが…。

B. に関しては、11月の米中間選挙を背景にトランプ氏の中国への圧力は強まる可能性が高く、貿易戦争も一層加熱するのではないかと。

これらを踏まえ、当委員会としては、ベア「弱気」との予想。

- 【議長】** 橋本健一郎 (橋本アルミ) 大阪
- 【委員】** 荒井義明 (荒井明商店) 東京
- 角井聡一郎 (角井地銅商店) 京都
- 棚町祐次 (IRユニバース) 東京
- 勅使河原孝行 (テシ商店) 名古屋

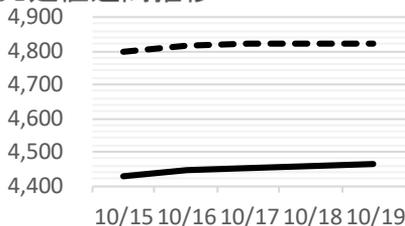


金銀山元建値週間推移

10月15日~10月19日

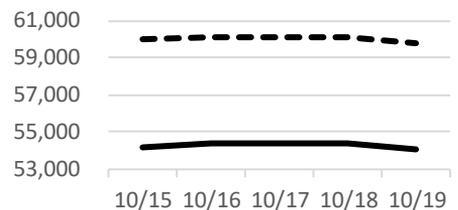
9月平均	建 値	小 売
金(¥/g)	4,993.11	4,703
銀(¥/kg)	52,700	58,426

金山元建値週間推移



	10/15	10/16	10/17	10/18	10/19
--- 金小売	4,799	4,814	4,822	4,822	4,820
— 金建値	4,429	4,446	4,452	4,457	4,461

銀山元建値週間推移



	10/15	10/16	10/17	10/18	10/19
--- 銀小売	60,040	60,150	60,150	60,150	59,830
— 銀建値	54,120	54,380	54,370	54,370	54,060



銅建値1万円引き下げ73万円

10月の月内建値平均は74万1,900円

JX金属は19日、電気銅建値を1万円引き下げ73万円と発表し、同日から実施した。2018年10月の月内建値平均は74万1,900円。

19日入電のLME銅相場セツルメントは6,147.00ドル、同日の東京外国為替市場の米ドルTTSレートは113.36円。この値で換算した採算価格は69万6,800円。建値と採算価格から見た諸掛りは3万3,200円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り(キロ当たり円、カッコ内は改訂日)。

2018年

□5月	800(1)790(7)800(14)810(23)790(29)	平均797.8
□6月	780(1)810(5)840(7)810(19)790(22)780(27)	平均810.0
□7月	780(2)750(5)730(12)720(20)730(25)	平均740.4
□8月	750(1)730(3)720(8)710(15)690(20)700(23)720(28)	平均716.0
□9月	710(3)700(6)710(13)720(19)750(25)	平均717.7
□10月	750(1)770(4)750(9)740(16)730(19)	平均741.9



黄銅削粉6円引き 下げ538円

関西の黄銅棒大手N社と三菱伸銅は19日、黄銅削粉の買値を6円引き下げ538円とすると発表した。

故銅市況

19日入電の海外相場は、LME(ロンドン金属取引所)銅相場の直物相場売値が、前日の6,249.00ドルより102.00ドル安の6,147.00ドル。この日の直物後場買値は、前日の6,191.50ドルより34.00ドル安の6,157.50ドル。カーブ取引は前日の6,218.00ドル～6,219.00ドルより61.00ドル安の6,157.00ドル～6,158.00ドル。COMEX(ニューヨーク商品取引所)の銅相場(10月限)は、前日の276.70より2.95セント安の273.75セント。SHFE(上海先物取引所)の銅相場(11月限)は、前日の5万0,230元より50元高の5万0,280元。

19日の東京為替市場TTSレートは、前日の113.70円より0.34円の円高ドル安で1ドル=113.36円。NYカーブLME先物比は29.50ドル安。19日に入電したLME銅相場のセツルメントは6,147.00ドル。この値と19日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日の75万円より1万4,000円安の73万6,000円。この日、電気銅建値は73万円に引き下げられた。

為替動向

19日午前の東京外国為替市場で、円相場は1ドル=112円台前半に上昇した。午前9時時点の気配値は、1ドル=112.19円～112.22円、前日の17時時点に比べ0.42円の円高・ドル安。

18日のニューヨーク外国為替市場は、前日比0.47円の円高・ドル安、1ドル=112.14円～112.24円で取引を終了した。

中国経済の減速懸念などを材料に、18日の米株式市場が大幅に下落した。投資資金が債券に流入し、米長期金利が低下したことで、日米金利差の縮小をにらんだ円買い・ドル売りが進んだ。イタリアの財政をめぐる、健全化を求める欧州連合(EU)にイタリア政府が反発しており、欧州での財政不安もリスク回避につながった。一方、米金利の先高感も強く、1ドル=111円台に上昇した後はドルが買い戻された。ニューヨーク市場のドル円レートのレンジは、111.95円～112.61円だった。

米株安を受け、19日午前の東京株式市場で日経平均株価が続落。東京外為市場では株安リスクをみて、低リスク通貨とされる円を買い、ドルを売る動きが先行した。

故銅直納問屋筋の平均値頃感(単位は千円)

直納問屋筋によるロット物(5トン前後)の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が603～608、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは584～589、並銅は523～528、込銅(高品位=約97%)は483、セバは531～536。コーベルは要り用筋で462、それ以外は454ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋417、それ以外400～425どころの値頃。並青銅削粉は454～459どころ。

小口市の中相場(1トン前後)では、ピカ線が586～591、上銅新くずが573～593、普通上銅が540～550、2号銅線が546～556、並銅が511～512、込銅(90-93%)が470～437、下銅が296～346、セバが498～508、コーベルが454～494、黄銅棒地が450～455、黄銅削粉が358～405、黄銅ラジが395～403、交叉ラジが330～341、黄銅銅物物が366～373、送りが169～184、上青銅物物が464～480、並青銅物物が456～469、上青銅物物削粉が461～480、並青銅物物削粉が454～458どころ。

故銅・銅滓 アルミ原料

高価即金買入

——ご照会を乞う。

森下商店

大阪市西成区南津守7-12-46

TEL (06)6659-5577～8

FAX (06)6659-5579



LME銅は反落 中国経済の先行き不安を嫌気
カーブ取引も反落 COMEX銅相場は続落 SHFE銅相場も小反発
LME非鉄相場は総じて軟調 ドル高が相場圧迫
亜鉛は続伸、2営業日でおよそ2%高

19日入電の海外相場は、銅の直物が、LME（ロンドン金属取引所）の公式値ベースで、前日の6,248.50ドルより102.50ドル安の6,146.00ドル。3か月物も、前日の6,246.00ドルより100.00ドル安の6,146.00ドル。LME公認倉庫の銅在庫量は、前日の16万1,000トンより約3,000トン減のおよそ15万8,000トン。COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場（10月限）は、前日の276.70セントより2.95セント安の273.75セント。カーブ取引は、前日の6,218.00ドル～6,219.00ドルより61.00ドル安の6,157.00ドル～6,158.00ドル。SHFE（上海先物取引所）の銅相場（11月限）は、前日の5万0,230元より50元高の5万0,280元。

中国の李克強首相が16日オランダで行った講演中「国際環境が複雑化し不安定で、中国経済への下押し圧力は強まった」と述べたことが中国国営ラジオで伝えられた。直面する下押し圧力に対し、対象を限定したより効果的な措置を講じることで経済成長の大きな変動を防ぐとする同国の方針を述べたものだったが、中国経済の先行き不安を再認識させる内容として市場では受け取られた。また、17日に発表された9月の米連邦公開市場委員会議事要旨で利上げ継続の可能性が示唆され、ドルが買われたことも、非鉄相場には逆風となった。

錫は反落

LME錫相場の直物は、前日の1万9,275.00ドルより112.50ドル安の1万9,162.50ドル。3か月物も、前日の1万9,212.50ドルより85.00ドル安の1万9,127.50ドル。

鉛は続落

LME鉛相場の直物は、前日の2,012.50ドルより21.50ドル安の1,991.00ドル。3か月物も、前日の2,026.50ドルより15.50ドル安の2,011.00ドル。

亜鉛は続伸

LME亜鉛相場の直物は、前日の2,652.50ドルより34.00ドル高の2,686.50ドル。3か月物も、前日の2,617.50ドルより29.75ドル高の2,647.25ドル。

アルミは続落 アルミ合金も続落 北米特殊アルミ合金も続落

LMEアルミ相場の直物は、前日の2,017.75ドルより10.50ドル安の2,007.25ドル。3か月物も、前日の2,023.25ドルより11.00ドル安の2,012.25ドル。LMEアルミ合金相場の直物は、前日の1,355.00ドルより95.00ドル安の1,260.00ドル。3か月物も、前日の1,410.00ドルより35.00ドル安の1,375.00ドル。LME北米特殊アルミ合金相場の直物は、前日の1,465.00ドルより30.00ドル安の1,435.00ドル。3か月物も、前日の1,505.00ドルより20.00ドル安の1,485.00ドル。LME公認倉庫のアルミニウム在庫量は、前日のおよそ108万3,000トンより約10,000トン減のおよそ107万3,000トン。

ニッケルは下落

LMEニッケル相場の直物は、前日の12,437.50ドルより300.00ドル安の12,137.50ドル。3か月物も、前日の12,525.00ドルより280.00ドル安の12,245.00ドル。

アルミ二次合金メーカー買値実勢値

1トン程度・置場・現金・キロ当たり円

関東地区(10月前半)

2S=194円～202円、63S=191円～195円、アルミホイール(1P)=186円～191円、ビス付サッシ=140円～144円、エンジンコロ=146円～148円、込合金(機械鋳物)=142円～144円、缶プレス(ソフト)=109円～123円。

関西地区(10月前半)

2S=189円～197円、63S=187円～191円、52S=199円～203円、印刷版=192円～197円、アルミホイール(1P)=175円～180円、ベースメタル=199円～204円、機械鋳物=146円～151円、ダライ粉=118円～120円、ビス付サッシ=141円～146円、缶プレス=124円～129円。

鋳物用銅合金地金

特殊銅合金各種製造
 砲金くず・ラジエーターくず等



角丁原料全般買受け

京和ブロンズ株式会社

京都府久世郡久御山町佐山新開地314
 電話 0774-43-6700(代表)

LME公式値(単位:ドル) / 10月18日(現地)

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公式値	6,146.00	19,162.50	1,991.00	2,686.50	2,007.25	1,260.00	1,435.00	12,137.50
	前営業日比	▲ 102.50	▲ 112.50	▲ 21.50	34.00	▲ 10.50	▲ 95.00	▲ 30.00	▲ 300.00
先物	公式値	6,146.00	19,127.50	2,011.00	2,647.25	2,012.25	1,375.00	1,485.00	12,245.00
	前営業日比	▲ 100.00	▲ 85.00	▲ 15.50	29.75	▲ 11.00	▲ 35.00	▲ 20.00	▲ 280.00

海外非鉄金属相場

(10月19日 入電・現地 10月18日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns for metal types (銅AG, 錫HG, 鉛, 亜鉛SHG, アルミHG, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル) and rows for current prices, previous day, and high/low values.

フリー・マーケット

■米国生産者価格

Table for US producer prices: 銅(セント/ポンド) and 銀(セント/オンス)HH社.

■NY相場

Table for NY market: 取引業者銅(セント/ポンド) and 2号銅線くず(セント/ポンド).

■ロンドン相場(ドル)

Table for London market listing various metals like 金(オンス), アンチモン, ビスマス, etc.

■K L T M 錫 (Mドル/キロ、出来高トン)

Table for Tin market with columns for exchange rates and prices.

L M E 在庫 (トン)

Table for LME inventory listing metals like 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, etc.

コメックス銅在庫(トン)

Table for COMEX copper inventory.

上海在庫(トン)

Table for Shanghai inventory listing 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛.

NYカーブ

Table for NY curve listing 銅 and アルミ prices.

上海相場

Table for Shanghai market listing prices for 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛.

NYコメックス相場

Table for NY COMEX market listing prices for 銅HG, 金, 銀, プラチナ, パラジウム.

採算価格

フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)

Table for cost calculation listing prices for LME and COMEX metals.

非鉄金属製品相場

(10月19日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京
銅小板2.0ミリ	◆ 960	◆ 990	亜鉛板0.3×3×7	620	620
建築用0.3ミリ	◆ 970	◆ 1000	印刷用亜鉛板トッパン用	800	800
銅大板2×1×2	◆ 1130	◆ 1190	給水管13ミリ	310	310
銅管(ベース)	◆ 1160	◆ 1180	鉛板1.5ミリ	340	340
水道用管(m当たり)13ミリ	◆ 820	◆ 860	鉛線3ミリ	465	475
銅棒25ミリ	◆ 930	◆ 990	軽圧品(仲値)	大阪	東京
銅条1.5×100	◆ 940	◆ 990	アルミ箔0.007ミリ	945	935
銅線0.9ミリ	◆ 1020	◆ 1050	〃 小板1ミリ	520	510
銅帯6×50	◆ 940	◆ 990	〃 大板1ミリ	510	500
銅平角線	◆ 1220	◆ 1230	〃 5052板	650	550
黄銅小板2.0ミリ	◆ 815	◆ 840	〃 5083板	665	565
〃 0.3ミリ	◆ 840	◆ 860	〃 2017板	1035	925
黄銅大板2×1×2	◆ 995	◆ 1050	〃 線3ミリ	645	560
黄銅管	◆ 1330	◆ 1280	〃 快削棒25ミリ	785	780
復水器用黄銅管	◆ 1280	◆ 1300	〃 合金棒25ミリ(17S)	790	760
黄銅棒快削25ミリ	◆ 660	◆ 700	〃 合金棒25ミリ(56S)	770	720
六角棒	◆ 690	◆ 730			
四角棒	◆ 720	◆ 760	貴金属(一般小口向け)		
鍛造用	◆ 700	◆ 740	白金(グラム)	◆ 3326	
ネーバル	◆ 800	◆ 840	パラジウム(グラム)	◆ 4260	
高力	◆ 800	◆ 840	金(グラム)	◆ 4820	
黄銅線6ミリ	◆ 1045	◆ 1090	銀(キログラム)	◆ 59830	
黄銅平角線ロール仕上	◆ 1250	◆ 1310			
黄銅条1.5×100	◆ 805	◆ 850	レアメタル輸入価格	8月通関 (CIF)	
リン青銅板一般用1.0ミリ	1830	1810	金属ケイ素(99.99%未満)	235	
〃 バネ用0.3ミリ	2040	2010	モリブデン酸化物	1917	
リン青銅棒25ミリ	2090	2100	タンタル	55202	
リン青銅線3ミリ	2260	2240	マグネシウム	272	
洋白板一般用1.0ミリ	2660	2610	コバルト	9906	
〃 バネ用1.0ミリ	2860	2820	インジウム	30740	
減摩合金	10月16日改定		銅合金地金	10月16日発表	
(500kg以上、大口価格)			(標準価格)	大阪	東京
1種	2670		BC 1種	810	—
2種	2605		2種	990	—
3種	2535		3種	1030	—
4種	2235		6種	870	—
5種	2155		7種	905	—
7種	895		YBSC 3種	720	—
8種	810		LBC 3種	995	—
9種	720		PBC 2種	1050	—

合金鉄	8月輸入単価 (CIF)
フェロマンガン2%以上炭素含有	133
〃 その他	196.6
フェロシリコン55%以上	169
フェロクロム4%以上炭素含有	168.4
フェロモリブデン純分60%以上	1993
フェロバナジウム	6404
フェロニッケル33%未満	461.8
電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ	326

